

ニヨホウチドリ

Orchis joo-iokiana Makino

ラン科

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

石川県でも稀産の植物で、近年、減少傾向にある。(現況:R-)

形態

本種は根が球形に肥厚し、茎はこれより出て直立、高さ10～30cm。葉は2～3個で披針形である。長さ3～8cm、幅1～1.5cm。花は紅紫色、総状にやや偏って3～8個着く。唇弁は深く三裂し、中片は四角状で側裂片よりは大きい。距は長さ1～1.5cm、背萼片は8～10mm。

国内分布

本州(福島県以西、静岡県以东)。

県内分布

白山高地区。

生態など

地生の多年生草本。開花期は7～8月。

生育環境

亜高山帯の草地(高茎草原)。

危険要因

園芸採取。

特記事項

ハクサンチドリとの区別点は、根の形態のほか葉の数、花被片の先端の尖り具合などである。



白井伸和・2002年7月20日

分布図はありません。